

市議会だより

はまだ

Vol.38

平成27年(2015年)8月1日発行



ヒラメ稚魚の放流を三階小学校5年生が体験しました(平成27年6月24日)



弥栄町イベント広場で浜田市総合防災訓練が行われました
(平成27年6月7日)

6月定例会 主な記事

- 22人の議員が論戦(個人一般質問) 7
- 議会報告会を開催しました.....15

平成27年6月定例会

平成27年6月浜田市議会定例会が6月1日に招集され、6月19日までの19日間の会期で開かれました。

今定例会で提出された議案は23件、請願3件でした。

審査の様子は、2ページから4ページに、採決の結果は6ページに掲載しています。

また、個人一般質問には、22人が立ちました。論戦の様子は7ページから掲載しています。

ふるさと寄附の 事業区分を明確に!

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された同意2件、議案5件、請願1件について審査を行いました。

今回、本会議や委員会審査で質疑が多く出され、賛否が分かれた議案は「浜田市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例について」でした。

浜田市には昨年度予想をはるかに超える7億3千万円の寄附がありました。寄附者が選びやすくと目的で事業区分を7事業から5事業に、「その他市長が認める事業」への寄附金を地域振興基金からふるさと応援基金にそれぞれ変更するものでした。委員からは、選びやすくするの

であれば事業項目を削減するのではなく増やすべきであり、提案条例の目的の文章自体がおかしいのではないかと、規定には「市長は寄附金を積み立てることなく必要な財源に使うことができる」とあるがどうか、抽象的にならない事業区分とし、事業活用の際もわかりやすく寄附者の意向を反映させたものにすべきなど、複数の質疑がありました。

執行部からは、「その他市長が認める事業」のところを減らしたかったため簡略化した。基金に積むことなく事業に使えるが、自由に使えるということではなく議案でも議論してもらおう。条例は抽象的な方が間違いがないが、その都度示す方法も考えているとの答弁がありました。この議案については賛成6名、反対1名で賛成多数で可決すべきものと決しました。また、市の3つの有料駐車場を指定管理とする「浜田市有料駐車場条例の制定について」は、新

たな民間の駐車場も整備され、立体駐車場の今後の状況がわからない。管理者への納付金額の設定などがみえる状況になつてから指定管理にだすべきではないか、などの質疑がありました。

執行部からは、納付金算定は難しいと思っているが、議会提案もあつた改正であり、早く準備を進めていきたいとの答弁がありました。この議案については賛成6名、反対1名で賛成多数で可決すべきものと決しました。



施設改修前の井野小学校教室谷分校

さらに「財産の無償譲渡について(旧井野小学校教室谷分校)」、平成26年度に施設改修した財産であるが、決算がまだ承認されていないのに譲渡ができるのかとの質疑があ

り、工期がずれ込み、夏以降の地元利用を考慮しての提案であるとの答弁がありました。この議案については全会一致で可決すべきものと決しました。

他に、「戦争につながる安全保障関連2法案に反対する意見書採択に関する請願について」は、それぞれ意見を出し合ったあと採決を行い、賛成4名反対3名で採択すべきものと決しました。本会議では反対多数で不採択となりました。



3月定例会で可決され、3署体制になった消防署を委員が視察しました

家庭的保育 事業を議論

— 福祉環境委員会 —

福祉環境委員会に付託された議案1件について審査を行いました。

「浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について」は、平成26年9月議会で制定された条例で、市条例を一部改正するものです。改正は、保育士とみなすことができる者が保健師又は看護師とされていたものに、准看護師を加えるものです。

委員会では、准看護師を保育士とみなす安易な保育者の拡大は、保育レベルの低下につながるのではないかと質疑がありました。

現在浜田市では、該当





充実させたい子育て支援

するケースはないが、事業所内保育所など適用される施設ができる可能性があり、そのため条例を整備するもので、国の定めは従うべき基準であり、これに沿って改正するとの答弁がありました。この議案については全会一致で可決すべきものと決しました。

議論呼んだ 付託議案!

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案6件、請願2件について審査を行いました。

「浜田市かなぎウエスタンライディングパーク条例の一部を改正する条例について」は、期間終了後、現在の指定管理者へ譲渡はとの質疑に、協議をしたが譲渡は難しいとの答弁がありました。

「浜田市弥栄農産物処理加工施設条例の一部を改正する条例について」は、第2工場の売却の用途と、施設内の機械器具等の処理や、実質3つの利用団体の移転先はとの質疑に、現在、売却の用途はたっていない。機械器具等と一緒に売却して

いきたい。利用団体の移転先を探している状況との答弁がありました。

「浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について」は、無償譲渡なのか、災害住宅残戸数について質疑があり、3割が本人負担で、一部有償である。残り昭和58年・63年災害住宅は合計14戸、今後災害関係住宅は譲渡か用途廃止で処理していくとの答弁がありました。

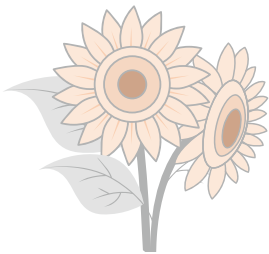
「損害賠償の額の決定について（市道上で発生した物損事故）」は、木が市道に覆いかぶさっていたものに営業車両がぶつかって起こった事故で、賠償額の根拠と、市道上での注意喚起や情報収集はどのようにしているのかとの質疑に、壊れたのは車両ではなく、保冷式のコンテナで過失割合が30%の損害賠償になった。普段から地主さんには伐採の要請、パトロールや市民の方々からの情報は随時入るようになってきているが、さらに情報収集の徹底をしていきたいとの答弁がありました。

た。議案6件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。



市道に覆いかぶさっている物損事故の木

また、「TPP交渉に関する請願について」は、継続審査となりました。「米価暴落対策の意見書を求める請願について」は、その地域（浜田市）としての恩恵が少ないとの意見があり、採決の結果、賛成少数で、不採択とすることに決しました。



浜田駅周辺用地 取得貸付金に 質疑が集中!

— 予算決算委員会 —

予算決算委員会に付託された「平成27年度浜田市一般会計補正予算（第1号）」について審査を行いました。

特に質疑が集中したのは、浜田駅周辺用地取得貸付金についてでありました。複数の委員から、資金貸付から土地を取得し売却するまでの手順を問う質疑、取得後の土地利用方針を問う質疑、短期間で売却可能かを問う質疑等がありました。これに対し執行部からは、土地開発公社に資金を貸付け、利子部分のみを市が負担し、土地（J.T跡地）購入を依頼する。取得した土地のうち75%は商業系用地として、25%は代替用地として売却す

る予定である。売買契約等は直接土地開発公社が行うが、商業系用地の有効活用の観点から、病院や学校に近い環境にふさわしく、かつ浜田駅周辺の活性化に資するため市が誘導していく。その方法のひとつとして公募型プロポーザル方式も考えており、今の段階で具体的内容は決まっていないが、関係機関の意見を参考に今後検討する。また、この土地取得については、JTに対して既に10数社から問合せがあることから、短期間で売却可能であると認識している、との答弁がありました。

委員会での質疑の様子



— 自治区制度等行財政改革推進特別委員会 —

自治区制度等行財政改革推進特別委員会に審査を付託された議案1件について、6月12日に委員会を開催し、審査を行い、結論を得ました。

本特別委員会に付託された議案第66号 浜田市自治区設置条例及び浜田市副市長条例の一部を改正する条例について執行部からの説明を受けたところであります。

平成27年2月に金城、旭、弥栄、三隅の4自治区地域協議会から「自治区制度によらないまちづくりの仕組みができるまでは、現行の浜田那賀方式自治区制度を存続されたい」との請願の提出がありました。請願内容についての聞き取り調査、執行部から修正案の提出があり、6月8日に請願が取り下げられた経緯があります。

委員からは、自治区制度がなくても、しっかりしたまちづくりの仕組みがあれば、自治区制度はいらないと認識しているが、それぞれが目指したまちづくりが進められるようにしていただきたいと質疑がありました。また、自治区長の月額54万円から36万円になった算定根拠はなんなのかと質疑がありました。地域協議会については、これまでの10年間は、機能を十分に果たしていないのではという質疑もありました。自治区問題の混乱の原因は、市民の英知を結集する手法を取らず、市長が自ら今後の自治区案を提案したことが問題だったのでは。さらに、浜田那賀方式は4自治区のためにあるのではない。浜田自治区の人も充分理解してもらっているのか。5自治区に最終案として示して、概ね理解が得られていると思っていのかとの質疑がありました。

その後、市民の広範な意見を吸い上げて市長がこう判断されたことは評価したい。10年後を迎える市長が一番大変だと思う。今の市長だから十分な議論の場を作っていただいたと思うと意見がありました。

この特別委員会は、平成25年12月議会において設置し、浜田那賀方式自治区制度の検証を行い、今後のあり方について調査及び研究を行うこととし、これまで各自治区長や各地域協議会の正副委員長と意見交換を実施し、委員会を14回開催しました。今回、特別委員会は、これまで浜田市の将来を決める自治区制度について1年半、審議し、議論してきました。今後、浜田市が大きく発展していくためには、地域の皆さんの声を反映し、地域の個性を活かし、安心して暮らせるまちづくり、一体感のあるまちづくり、仕組みづくりが大変重要だと思っています。

議案第66号 浜田市自治区設置条例及び浜田市副市長条例の一部を改正する条例については、採決の結果、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案に対して議員が
討論を行いました

議案第66号

「浜田市自治区設置条例及び浜田市副市長条例の一部を改正する条例について」

反対討論

田畑 敬一 議員
追加提出議案の手法は議会軽視、強引である。最終案の議論が全く尽くされていないため。

賛成討論

岡本 正友 議員
各地域協議会も概ね提案に賛成し、請願も取り下げられた。真摯に受け止め賛成する。

反対討論

西村 健 議員
時間を要しても、議員が市民の意向を把握したうえで議案の可否を図るべきである。

賛成討論

江角 敏和 議員
内容が、我が会派の見解に近付き、各関係者も内諾されたため、2点の意見を付し賛成。



議案第66号の採決の様子

議案に対して議員が 討論を行いました

議案第52号

「浜田市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例について」

反対討論

森谷 公昭 議員

市民に分からないように寄付の9割を浜田城整備に使えるようにした条例改悪だから。

反対討論

西村 健 議員

改正の目的・理由に合理性がなく、目的を實現できない可能性が高い。

議案第55号「浜田市有料駐車条例の制定について」

反対討論

森谷 公昭 議員

6月に60台の民間駐車場ができ、利益・損失が読めない。情勢がわかってからやるべき。

議案第56号

「浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について」

反対討論

西村 健 議員

改正内容が、浜田市の保育実態や従来国が示してきた保育レベルより低いものである。

議案第65号
「平成27年度浜田市一般会計補正予算(第1号)」

反対討論

森谷 公昭 議員

JTの土地2500坪は、民間主導にすぎ、経営の経験のない浜田市主導は失敗する。

請願・陳情の審査経過及び結果

—平成27年6月定例会審査分—

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した経過と結果
請願	戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）に反対する意見書採択に関する請願について	新日本婦人の会浜田支部 支部長 白瀬 迪子 様	総務文教委員会 【採択】
請願	TPP交渉に関する請願について	島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎 様	産業建設委員会 【継続審査】
請願	米価暴落対策の意見書を求める請願について	島根県農民運動連合会 代表者 長谷川敏郎 様	産業建設委員会 【不採択】

平成27年3月定例会で提出された「自治区制度に関する請願について」は取下げられました。

平成27年6月定例会での議案等の賛否の公開(本会議)

		賛成	反対
承認第1号	専決処分の承認について(浜田市税条例等の一部を改正する条例) 反対:西村	22	1
承認第2号	専決処分の承認について(浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例) 反対:西村	22	1
承認第3号	専決処分の承認について(平成26年度浜田市一般会計補正予算第9号)	23	0
議案第51号	浜田市移動通信用鉄塔施設条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第52号	浜田市ふるさと寄附条例の一部を改正する条例について 反対:森谷、田畑、平石、澁谷、西村	18	5
議案第53号	浜田市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第54号	浜田市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第55号	浜田市有料駐車場条例の制定について 反対:森谷、澁谷、西村	20	3
議案第56号	浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について 反対:西村	22	1
議案第57号	浜田市障害者等介護給付費等審査会条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第58号	浜田市かなぎウェスタンライディングパーク条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第59号	浜田市弥栄農産物処理加工施設条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第60号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	23	0
議案第61号	財産の無償譲渡について(旧井野小学校室谷分校)	23	0
議案第62号	損害賠償の額の決定について(市道上で発生した物損事故) 反対:森谷	22	1
議案第63号	市道路線の廃止について(西浜田5号線外)	23	0
議案第64号	市道路線の認定について(西浜田5号線外)	23	0
議案第65号	平成27年度浜田市一般会計補正予算(第1号) 反対:森谷	22	1
議案第66号	浜田市自治区設置条例及び浜田市副市長条例の一部を改正する条例について 反対:森谷、田畑、平石、西村	19	4
同意第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	23	0
同意第4号	浜田市固定資産評価員の選任について	23	0
同意第5号	浜田市名誉市民の選定について 反対:森谷	22	1
請願第6号	戦争につながる安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)に反対する意見書採択に関する請願について 賛成:岡野、小川、森谷、笹田、芦谷、西村、江角 棄権:牛尾昭	7	15
請願第7号	TPP交渉に関する請願について【継続審査】 継続に反対:串崎、小川、森谷、笹田、西村、江角	17	6
請願第8号	米価暴落対策の意見書を求める請願について 賛成:串崎、小川、森谷、上野、笹田、芦谷、田畑、西村、江角	9	14

反対理由の詳細については市議会HPをご覧ください。

平成27年6月議会で可決された主な事業

“不燃ごみ処理場改修事業”

浸出処理施設の一部を改修し
放流水(カドミウム値)の水質改善を目指す!

—調整池に攪拌機2台設置攪拌し、
浸出処理施設に流入させ安定処理—

- 機器材料費 545万円
- 機器設置工事 345万円
- 車両費その他 30万円
- 27年度事業費 993万円(地方債)

“浜田駅周辺用地取得貸付金”

市民が集う賑わいゾーンに!

—購入を浜田市土地開発公社に依頼—

公社の事業の代替地
土地購入費
JT所有地の面積 8,436,92㎡
(総額約4億円)

建物はJT側で解体

“林道美川折居線災害防除事業”

—平成27年3月14日
大規模な法面崩壊が発生!—

26年度予算で崩土除去と仮設土留めをしたが、崩壊面上部が不安定状態で、再被災が懸念される状況により対応!

- 27年度事業費 2,994万円
- 財源内訳 2,840万円(地方債)
154万円(一般財源)

“旭温泉水有効活用事業”

余剰な温泉水を有効活用する
新たな産業に期待!

—ビジネスプランコンテストの実施、
最優秀プランには起業支援—

- 予算額 218万円(地域振興基金)
- 募集情報発信 55万円
- 審査会開催 163万円(賞金他)

個人一般質問 22名が論戦

質問 平成10年4月の開校以来、多くの作業療法士・理学療法士・言語聴覚士を輩出していったが、平成18年の旧経営陣の不祥事により入学生が激減している。平成21年度には24人にまで減少し、それ以降、様々な支援施策を展開しているが、順調な経営状況ではないと認識している。今後、新たな支援施策を考える必要があると思うが、

三隅支所長

開校にあたり、学校敷地の提供や公共施設使用料の減免等の支援を実施してきた。入学生激減による緊急支援策としては、市から作業療法士の派遣、入学金助成、奨学金返還免除制度等を実施した。さらに2億円の無利子融資により、学生確保等の支援を行った。この緊急支援策によ



リハビリテーションカレッジ島根
(正面からの写真)

産業経済部長 イベントのなかに地域資源を絡み交流人口増に取組む。

質問 自転車・バイク・車等のイベントで集客力アップを!

り、入学生が増加しつつあるが、経営安定のためには学生数250名以上の確保が必要である。高校生の数が減少するなかで入学生獲得競争が激化してくるが、今年度の入学状況を詳しく検証し新たな支援施策について関係機関と協議を進めたい。



答 関係機関と協議を進めたい

平石 誠 議員

リハカレへの新たな支援を
考えるべきでは?

進めたい

どうする

地方版総合戦略策定は！



答 市民・議会の声を聞いてやっていく

牛尾 昭 議員

質問 総合戦略での市長の基本的な考えを問う。

市長 人口減少問題等を最重要課題と考え、市民や議会の意見を伺う。

質問 市民百人委員会について問う。

地域政策部長 不備があり、今後、若い人の意見や団体の意見を聞く。

質問 人口減少に歯止めをかけるために、ワークシェアリングとして、半日公務員、半日は漁業や農業をする半官半民制度を導入し、50人の経費での100人雇用はどうか。

総務部長 難しいが、将来的には国において研究されるのではないかと。

質問 今後5年間で187人が退職するが、Uターンを促すための社会人採用枠はどうか。

総務部長 今後は、26歳までと34歳までのパター

ンとし、専門職は制限をせず、その都度協議する。

質問 出生率対策として市の目標を問う。

健康福祉部長 県の数値を視野に総合審で決める。

質問 第2子に50万、第3子に100万祝い金を出す場合と保育無料化ではどの位かかるか問う。

健康福祉部長 約1億6千万、無料化は3億7千万。

質問 ふるさと納税の基金での対応はどうか問う。

財政部長 検討する。



最重要課題の子育て支援

農業離れが地域を崩壊 地域を守る農業は



答 農地中間管理事業等を活用し農地保全を守る

串崎 利行 議員

質問 農業離れが深刻な問題になっており、農業から離れることが、地域を崩壊することに繋がるため、儲かる農業のみならず、集落、地域を守る農業を積極的に推進するべきと感じているが、各自治区の考えを問う。

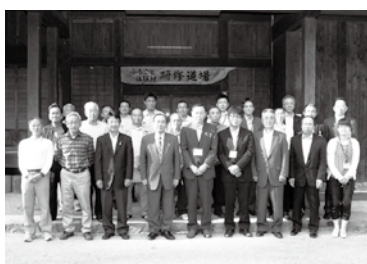
金城支所長 新開団地の開発による企業参入、株式会社みどりファームかなぎの設立、今後整備される元谷団地の大規模化を視野に入れ、農業振興、保全に努める。

旭支所長 農地保全構想を打ち出し、農地保全に取組んでいる。農家は農地保全を、農業で儲けるのは担い手やサポート経営体という二極化の農業振興を目指す。

弥栄支所長 人・農地プランの作成にあたり、各集落で意見交換し、協議

の結果、12の営農組織が一つにまとまり、弥栄自治区集落営農連携協議会を設立した。今後は弥栄米ブランド化や機械作業の共同化等を行い、地域を守る仕組みを構築する。

三陣支所長 営農組織を積極的に推進し、日本型直接支払制度の活用もし、農業の将来について話し合い、地域が連携した農業を推進する。西条柿については、関係者と協力し、収益アップや就農者の確保に努める。



弥栄自治区集落営農連絡協議会

市長の家賃を浜田市が負担する理由は？



答 家賃の規定に該当すると考えている

森谷 公昭 議員

質問 規定にないのに市長の家賃を市が負担するのはおかしい。当選した時点で、その借家に住んでいたのに、住居確保が困難であるはずがない。負担は認められないのではないかと。

総務部長 出馬の前に県外に住んでおり、出馬のために市に転居したので「県外に住居していたもの」に該当する。入居時には、実家は1階がみそ工場、2階は両親が住んでおり、市長夫婦での入居は困難。「住居確保困難」に該当する。

質問 前市長は財政難の時に自分の報酬をカットした。「浜田市が財政困難だから自治区を廃止する」と言いながら自分の家賃を市に負担させる姿勢は間違っていないか。

総務部長 問題ない。

質問 この3月に浜田道でのバス事故の際、ドクターヘリを要請するのに通常は4分のところ、なぜ39分かかったのか。

消防長 現場で判断することにしたため。

質問 キーワード要請では、通報に「バス」という単語があったらヘリを呼ぶことになっているのではないかと。

消防長 現場に着いてから判断したので問題ない。



高速道路での事故現場

伝統芸能担い手育成は 定住促進に重要だ！



岡本 正友 議員

答 一同に会する祭りの開催を前向きに検討する

質問 自治区制度の延伸と浜田自治区住民への理解を求める方策について問う。

市長 今年度は新たな総合振興計画や地方創生による総合戦略を策定する上で、市民の意見が分かるなか、重要な計画を作るのはよくない、少しでも多くの市民の理解をいただきたいと考える。

約5年間で地域の個性を活かしたまちづくり施策の推進や住民自治組織への支援の充実を図り、自治区制度に寄らないまちづくりを目指して取り組む。

質問 伝統芸能や文化など次世代の子どもや若者の担い手育成を図る取組は、定住促進やリーダーに期待でき、まちづくりの手法としても重要であると思っている。保存と地域活動を推進するた

めに一同に会したお祭りイベント開催への仕組みづくりについて問う。

市長 一同に会したお祭りの開催の提言について前向きに検討をしたい。

質問 マイナンバー制度の運用から、情報漏えい等の住民不安に対応する窓口業務について問う。

総務部長 万全な仕組みであると考えているが、国主体の周知のみならず、情報提供も含め配慮して取り組んでいく。



盆踊り風景

戦後70年記念事業と 平和行政を問う



小川 稔宏 議員

答 記念事業として特別に予算化した事業はない

質問 平和都市宣言や平和首長会議加盟が行政に活かされているかを問う。

総務部長 平和アピールパネル展等を実施している。広島・長崎両市から資料提供も得られる。

質問 「平和行政の基本に関する条例」等の制定について問う。

総務部長 条例等の制定自治体は限られており、制定する予定はない。

質問 今年度予算にみる平和記念事業を問う。

総務部長 戦後70年記念事業として特別に予算化した事業はない。

質問 戦争や被爆の体験談等の記録化の必要性について認識を問う。

総務部長 戦争の悲惨さや愚かさを伝え恒久平和を築くうえで重要である。

質問 公募等市民協働による記念事業について問う。

総務部長 市が開催する計画はない。市民からの意見は施策に反映したい。

質問 平和教育の全体計画や指導計画を問う。

教育長 各校での計画作成の義務づけはない。

質問 戦後の学校教科書「あたらしい憲法のはなし」「民主主義」についての認識を問う。

教育長 平和教育、民主主義教育の原点の一つと言えると認識している。



真光寺の被爆アオギリ2世

胃がん検診受診率アップの 取組は？



柳楽真智子 議員

答 民間の職場健診とコロナ検診を推進する

質問 今後もピロリ菌検査（胃がんリスク検診）の公費導入は難しいのか。

健康福祉部長 検討を重ねているがピロリ菌保有率明後の、患者自費負担や副作用等があることから、今後も国の動向など注視していく。

質問 今年度、胃がん検診の受診率アップに向けた取組があるのか問う。

健康福祉部長 地域や職場での健康教室や、イベントやスーパードでの啓発を行う。新たに民間の職場健診と市の胃がん検診とのコロナ検診を推進している。

質問 認知症の徘徊模擬訓練が各地で行われている。市が主体となる模擬訓練の計画はないか問う。

健康福祉部長 認知症の方への適切な声かけや見守りの対応のためにも、

訓練は必要と考えている。具体的な実施地域や方法は未定だが、民生委員をはじめ地域の関係団体や警察署、消防とも協議して地域を選定し、今年度内を目標にモデル的に実施したいと考えている。

質問 今後のまちづくりに対する支援を問う。

地域政策部長 フォーラムの継続実施、推進委員会の組織化やリーダーの育成支援を行う。交付金制度も地域活動に配慮し検討する。



徘徊模擬訓練の様子

地元企業の育成・支援を優先に！



足立 豪 議員

答 企業誘致と同様に支援する

質問 市長は一番に経済を重要視されていると認識している。そのなかで、地元企業の現状として昨年の倒産件数を問う。
産業経済部長 倒産と廃業を併せて60件発生している。

質問 浜田市の生産年齢人口は、この30年で1万人強も減少している。企業誘致も大切だが、地元企業の育成・支援が前提であり、特に土木業や建設業においては、社会資本整備に関わる重要な業態である。地元企業優先の入札について問う。
都市建設部長 若者労働者の確保、育成や建設業のイメージアップに努力されている。入札は地元業者を優先して、発注するよう配慮している。
質問 土木業や建設業の若者労働者確保に向け、

資格取得のための支援策を問う。

産業経済部長 若年労働者の確保や育成のため、資格取得の助成など前向きに検討する。

質問 公営住宅における「入居債務保証支援」の公的機関設立について、その後の取組状況を問う。
都市建設部長 引き続き研究や検討が必要である。

その他の質問
○地域包括支援センターの取組状況について



地元企業の育成・支援で活性化！

議論なしで自治区制度の行方は？



田畑 敬一 議員

答 自治区制度によらないまちづくりを取組む

質問 自治区制度についてどのように検討し、なぜ方針転換や、修正したのか問う。

市長 当初の見直し案は、自治区制度の終期を区切ることにしている不安が大きく、理解が得られな

いとの意見が多くあった。今後、5年間で地域の皆さんと行政が一体的なまちづくりを進めることが重要である。今年度は、新たな総合振興計画や、地方創生による総合戦略を作成する年であり、市民の理解を得られるような案とした。

質問 自治区長の身分・責任・権限はどうなるのか。
地域政策部長 副市長ではなく常勤の特別職とし、これまでどおり自治区の重要施策や運営方針、災害対策本部などの

事項は引継ぐ。副市長でないことから議会には原則出席しない。

質問 今回示した自治区制度の期限内に何を求めるのか。
市長 今後5年間において、地域の個性を活かし、地域と行政が一体となるまちづくりを進めることが重要である。地区まちづくり委員会などの住民自治組織や、地域リーダーの育成支援に取り組む。



自治区制度見直しで地域文化は

職員の定員計画について問う



江角 敏和 議員

答 目標年を伸ばす等弾力的な対応を検討する

質問 定員適正化計画（平成20年～平成29年度）策定に至った経緯を問う。

総務部長 合併協定により自治区制度を設け、各支所へ旧町村の住民サービスを維持するため、合併時は、約7割の職員を残した。合併後、平成29年度までに職員数を164人削減、549人とする定員計画を策定し、管理的業務の本庁集中化、民間委託等の実施とともに職員採用を退職者数の3分の1に押さえてきた。

質問 計画の進捗状況と現行の対応を問う。
総務部長 平成27年4月時点の想定値である591人に対し、早期退職等により572人の職員数となっている。業務量が増加しているなか、平成26～27年に、計画の範囲内で柔軟な採用を行った。

質問 監査委員の指摘、有給休暇の取得低下、再任用の義務化、ストレスチェック制度の導入等々のなか、消防職や各支所20人体制も含む、今後の定員計画の考え方を問う。

消防長 定員を増やし、来年度採用も含め、段階的に対応すべく検討する。
総務部長 支所体制は、金城19名、旭19名、弥栄18名、三隅24名とする。

市長 目標値は変えず、達成年度の延伸等、弾力的な対応を検討したい。



市民の対応をする職員

元気な浜田づくりへ 市民主導型の推進を



答 市民主導の推進のため
地域へ積極的に出向く

道下 文男 議員

質問 国は地方活性化を進めている。市においても「市民あつての行政」という、市民主導のまちづくりで地域のやる気を醸成し、市の活性化を図りたいが考えを問う。

市長 今後のまちづくりには「市民主導」の考えが重要であると認識している。今後とも、より地域活動に積極的に出向き、協働体制を構築する。

質問 やる気のある職員育成へ、現場主義の徹底の考えを問う。

市長 「組織は人づくり」と考え、現場主義も含め、これまで以上に優秀な職員育成に取組む。

質問 市の活性化へ、元気な浜田っ子の育成は避けては通れず「認定こども園」あるいは子供たち同士で自主的に自然体験を通して育てる「森のよ



「元気な浜田っ子」の育成を

うちえん」の普及について考えを問う。

健康福祉部長 幼稚園は充足しており、認定こども園より保育所整備優先との考えである。「森のようちえん」については、評価はするものの課題も多く、代表者育成を含め今後検討したい。

その他の質問
○地域運営学校の推進
○耕作放棄地の解消
○多世代同居への支援

今後の給食センター統合の 検討案は



答 各自治区に残す案も含め
3パターンを検討中

佐々木豊治 議員

質問 委託業者作成による浜田市公共施設再配置計画素案が示された。市の主観を入れず客観的なものとされているが、給食センターの方針は「統合」の設置が示されているが今後の方針を問う。

教育部長 「素案」に示されたことも重要な視点と考えるが「浜田1ヶ所へ統合」「浜田と金城の2ヶ所へ統合」「三隅の自校方式をセンター化する各自治区に残す」の3パターンを検討中である。

質問 幼稚園施設の方針は「すべての園が大きく定員割れをしていることなどから民間委託を進める」というものであったが今後の方針を問う。

教育部長 平成23年度に1園閉園を決定してお

り、統合幼稚園の建設も含め検討していく。

質問 御便殿施設の素案は「博物館に統合」であった。市の方針では「神楽殿」の設置が示されているが今後の方針を問う。

地域政策部長 御便殿に隣接した新たな施設建設を検討しており、「神楽殿」や「歴史館」とともに一体的整備を検討する。

その他の質問
○シングルペアレントの人的支援の取組
○予約型乗合タクシー



浜田学校給食センター

ひとり親家庭支援など 人にやさしい市政を



答 独自福祉サービスの
適用について研究する

芦谷 英夫 議員

質問 ひとり親家庭への支援の取組は、全国的にも注目され、人にやさしい市政につながる。寡婦控除の適用、独自福祉サービス適用の考えはないか問う。

健康福祉部長 未婚の母に寡婦控除適用がないのは、不公平な取り扱いとして問題提起され国会で議論され、市でも検討したい。他市で行っている独自の福祉サービスの適用について研究したい。

質問 平成30年4月から精神障がい者の雇用義務化への取組を問う。

健康福祉部長 企業や事業主、ハローワークなどと連携し、継続性をもって障がい者雇用を推進したい。

質問 障がい者差別禁止条例制定の考えを問う。
健康福祉部長 差別禁止

条例の制定について、関係団体や当事者団体などと連携し研究したい。

質問 生活路線バスや予約型乗合タクシーが利用しにくい、融通が利かないとの声がある。地域と向き合い地域の声を反映することについて問う。

地域政策部長 現状のサービスが地域ニーズに合わなくなっており、個々の実情をしっかりと把握し、地域ごとのニーズに合う地域の声を反映した計画づくりに努めたい。



予約型乗合タクシー
～買い物 通院などに便利～

見直し後の自治区長の

権限の変更点は？



飛野 弘一 議員

答 処遇は変わるが

主な権限は継続する

質問 自治区長は住民・

地域と行政をつなぐ重要

なポストで、政治的判

断をなしうる存在でもあ

り、意義は大きい。こう

いう背景の中、平成28年

4月から常勤の特別職と

あるが、自治区長の権限

の変更点について問う。

地域政策部長 自治区の

重要施策や運営方針、災

害対策本部など引き続き

担当する。副市長ではな

いことから議会には原則

出席しないことや、事務

負担を軽減して専決事項

を減らすことを検討して

いる。処遇は変わるが、

これまでどおり地域の皆

さんのよりどころとして、

住民サービスが低下しな

いように主な権限は継続

し、地域の個性を活かし

たまちづくりを進めるた

め、新たな仕組みづくり

協議など、引き続き自治

区の舵取り役を担ってい

ただくよう考えている。



中山間地域の課題
除草作業の省力化

その他の質問

○三隅発電所2号機の地

元受入歓迎と完成後継

続的経済波及効果策に

ついて

○中山間地域の当面の課

題について

○除草作業の省力化につ

いて

○耐久性畦畔について

○地域公共交通再編計画

について

○買い物弱者対策につい

て

自治区制度改正議案提出は

見送りを



西村 健 議員

答 概ね了解をいただいたので

提案する

質問 5月15日に示され

た「今後の自治区制度に

ついて」(最終案)にも

とつき、条例改正案を提

案予定と聞く。地域協議

会や議会での議論不足は

明らかで、提案は見送る

べきと考えるがどうか。

市長 4自治区から現行

自治区制度の存続要望が

出され、このままでは市

民間で意見が割れるとい

う心配があり、3月定例

会への提案は見送った。

5月に、現行制度をあ

まり変えず4年半延長す

る最終案を提案し、4

自治区の地域協議会か

ら「概ね了解する」との

回答をいただいたので今

回、提案する考えである。

質問 「概ね了解」とは

どういうことか。

地域政策部長 最終案に

対し「評価できる」との

意見とともに、自治区長

の権限や自治区要望事業

自治区設置期間など、3

点の要望をいただいた。

質問 4自治区から要望

事項があり、今後検討を

要する部分を残しながら、

なぜ急いで提案しようとするのか理解できない。

地域政策部長 昨年11月

に方針を示し、修正案を

示しながら約半年間かけ

て議論をいただき、浜田

を含め各自治区の地域協

議会から「概ね了解」は

得られたので今回、提案

することとした。



地域協議会合同会議

「海洋教育」の先進市に

なるべきだ!



笹田 卓 議員

答 進める方向で

考えていく

質問 海洋教育とは「海

に親しみ、海を知り、海

を守り、海を利用する学

習を推進する教育」だが、

平成25年4月に閣議決定

された「海洋基本計画」

で、海洋教育に関する記

述が大幅に拡充された。

安倍総理自らが海洋教

育の促進について言及さ

れ、海洋教育に関する必

要性が高まっている。

学校教育における海洋

教育は進んでいないが、

率先して海洋教育を推進

し、先進市になるべきだ

と考えるが?



日本海での海洋教育

市長 海洋教育は大変重

要な教育だと認識してお

り、教育委員会と連携し、

進める方向で考える。



水面さえあれば、離着水可能

質問 水面さえあれば、

どこでも離着水できる水

上飛行機は、海洋国家で

災害の多い日本におい

て、救助活動に活用でき

ると考えられているが、

観光や災害に対応できる

「西日本水上飛行機ネッ

トワーク構想」を浜田市

が掲げ、推進すべきだが?

産業経済部長 島根県や

港湾関係機関と可能性に

ついて検討する。

ご縁のある三重県松阪市と 都市交流協定を！



答 事務レベルで協議終了後
早急に締結したい

布施 賢司 議員

質問 国・県や市も人口減克服のため地方への移住、回帰の動きを後押ししている。ここ3ヶ年のU・ターナー者の世帯数と人数、現在の定住率は。

地域政策部長 3ヶ年で83世帯、122人。定住率は7割程度である。
質問 定住相談会などで、農業で生計を立てていく事への不安があると聞く。払拭させるためにも農閑期にできる仕事、「マルチワーク」を積極的に市が紹介し始めてはどうか。

地域政策部長 浜田市版の「マルチワーク」の作成について研究していく。
質問 介護職確保を目指すシングルペアレント（ひとり親）の受入れ事業は、地方版総合戦略のメニューになるのでは。
市長 地方版総合戦略に組み込み、浜田市の「地方

「殺処分ゼロ宣言」都市を 目指すつもりは？



答 保健所と連携して
検討研究していく

岡野 克俊 議員

質問 全国的に動物愛護の活動が広がっているが、浜田市が取組んでいる方針・施策を問う。

市民環境部長 動物愛護及び管理については県条例により浜田保健所指導のもと、市は窓口業務として、動物の苦情処理、ペットの里親探しや室内飼育の奨励、去勢・避妊手術の奨励など殺処分数の減少に努めている。
質問 新たにゆうひパーク浜田が国交省指定の「重点道の駅」交流拠点（全国35ヶ所）の指定を受けたが、地域政策として犬や猫などのペットを活用してはと思うが、その計画を問う。

産業経済部長 市内にある2つの道の駅の再生が急務であると考えているが、特にゆうひパーク浜田は今回の指定によって来年度に全面リニューアルを図る予定である。現在トイレを奥に移設し、その場所に新たに「ドッグラン」コースの整備が予定されている。今後、市民や観光客に周知・情報提供を図るとともに、ニーズの多様化のなかで動物の活用による集客策についても研究課題としていきたい。
その他の質問 ○ふるさと寄附の昨年実績と展望について



ドッグラン施設（高知県南国市）

嘱託職員と臨時職員の 速やかな待遇改善は？



答 必要に応じて、
処遇改善を実施する

澁谷 幹雄 議員

質問 力のある先生の育成には、各学校に教科の指導書を取揃えるのは当り前。何故浜田市教育委員会は取揃えないのか？

教育長 もう一度、各校の状況を確認し、できるだけへの対応は行う。
質問 中山間地の学校は、これ以上廃校にすべきではない。その決意は？

教育長 長期的展望に立つて、検討する。
質問 児童生徒の、イジメに負けない、強い心の育成の取組は？
教育長 「いじめ防止基本方針」に沿って取組む。
質問 国家戦略である「地方創生」を利用して、瀬戸ヶ島地域を含んだ浜田港の「特区」申請をすべきではないか？
産業経済部長 あらゆる可能性を検討する。
質問 嘱託職員と臨時職



F T Z、ビザ発給の緩和、定期高速船など、ビジョンを描いて浜田港の「特区」申請を！

総合振興計画と

地方版総合戦略の役割は？



野藤 薫 議員

答 振興計画は市政全般総合戦略は人口減少対策

質問 地方版総合戦略の進捗状況を問う。

地域政策部長 「元氣な

浜田づくり市民委員会」のご意見も踏まえ「総合振興計画審議会」で基本的な方針を検討し、それに対応した施策のなかから総合戦略を策定する。

質問 まちの駅の認識を問う。

産業経済部長 まちの駅

は松江市に18ヶ所ある。既存の施設が連携することで地域活性化に寄与すると思う。浜田での可能性について検討する。

質問 プレミアム商品券

は域内の消費を促進する。発行予定と次回発行の検討等の予定を問う。

産業経済部長 本年10月

1日から国の緊急経済対策による20%プレミアムを付加した浜田市共通商品券を発行する。



限付きプレミアム商品券1,000円1枚
前回の浜田市プレミアム共通商品券

もし次の発行だと市の単独財源となる。

質問 商店街のにぎわい

創出などや、瀬戸ヶ島、漁港に行きやすい循環バスが運行できないか問う。

地域政策部長 「浜田市

公共交通再編計画」は平成28年度から3年の計画。観光面やお魚センターへの利便性も含め検討したい。

その他質問

○コミュニティスクールについて

○子供の貧困について

火電2号機建設は

地域振興の大きなチャンス



西田 清久 議員

答 浜田市全体で活性化に全力で取組む

質問 中国電力三隅火力発電所2号機建設は、浜田市の財政運営や地域経済に与える影響が大きい。

市全体での取組を問う。

産業経済部長 中国電力

に対し工事等の地元企業への発注、物品等の地元購入など要望する。また関連ビジネスに関係する企業参入の可能性も模索する。

質問 1号機と2号機が

隔年点検になると、毎年千数百人の点検作業員が3〜4ヶ月滞在される。宿泊や食事など、よりスムーズな受入れと地域活性化策について問う。

産業経済部長 空き家や

未利用公共施設の利活用や昼食の弁当を地域で提供するような取組など、単なる電源立地の税収増加だけでなく、地域の活性化に向けて活かせる道



中国電力三隅火力発電所

もあるものと考える。

質問 より詳細な現場対応をするために市役所内に専門の部署を設置してはどうか問う。

産業経済部長 庁内全体

でも考えるべき問題だが、企業の滞在人数や食事などもっと踏み込んでより詳しく伺い、対策をとる。

質問 持続する温排水の活用策について問う。

産業経済部長 栽培漁業などの可能性は広がるものと認識する。

これまでの自治区制度が

寄与した実績は？



上野 茂 議員

答 住民自治意識が高められた

質問 今まで実施してきた自治区制度がどのよう

に地域の発展に寄与してきたのかその実績を問う。

地域政策部長 地域振興

基金や投資的経費などの自治区予算で自治区事業ができたことが大きな実績である。地域の声を反映する仕組みとして、地域協議会で重要施策などについて審議し、自分たちで地域を良くしていくという住民自治意識が高められ、「地域の個性を活かしたまちづくり」ができたこと。

質問 市における地産地消

について問う。

産業経済部長 平成21年

3月に地産地消条例を制定し、地産地消に取組んできた。平成26年では、市内産直市4店舗などの総売上高は約2億6千万



地元食文化の継承

円で、5年前と比較すると約1億円増額しており、消費者の地元農産物へのニーズはますます高まっていると感じている。

また、学校給食における

地元産品活用割合は、県内8市中4位で、さらに

市の産業経済部、県の関係機関と地産地消の推進

に向けて対策を検討している。

その他の質問

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

○耕作放棄地について

議会報告会を開催しました

議会報告会を5月13日から16日までの4日間市内10会場で
行い、多くの方に参加していただきました。



このたびの議会報告会でいただいたご意見やご要望の総数は約88件でした。これらの意見のうち、議会に関すること以外は、市長【執行機関】に意見・要望として報告させていただきました。

議会に対する意見・要望については、議会内部で検討を重ね、回答とともに主なものを下記のとおり掲載しています。市民の皆さまから貴重な生の声をたくさんいただき、本当にありがとうございました。

日時	開催会場	参加者
5月13日(水) 19:00~20:30	弥栄会館	12人
	三隅公民館	25人
5月14日(木) 19:00~20:30	美川公民館	6人
	金城みどりかいかん	56人
5月15日(金) 19:00~20:30	国府公民館	10人
	旭センター	37人
5月16日(土) 10:00~11:30	周布公民館	14人
	石見公民館	24人
5月16日(土) 14:00~15:30	浜田公民館	12人
	長浜公民館	6人
合計		202人

意見・要望と議会からの回答

意見・要望	議会だより発行について、もう少しチェック機能が必要と感じる。
議会からの回答	議会だよりは議会広報広聴委員会が編集、作成の業務を行っています。年に4回、定例会の終了後に審査の内容などを報告させていただいています。市民の皆さんに開かれた議会を目指す私たちにとって、有効な広報誌として位置づけています。今後は、より皆さんに親しみをもって読んでいただけるような、紙面の作成に取組みたいと思います。そのためにも、紙面の確認にはあらゆる面に気をつけ、対処していきたいと考えています。
意見・要望	議会、執行部の関係がしっくりしてないと感じる。役割は違うが、浜田市の発展のために取組んでいただきたい。
議会からの回答	市長は市民の皆さんの要望を政策として具体的に予算化したり、条例を制定・改廃するため議案を提出します。議会は、提案説明を聞いた上できめ細かく審議し、どう処理すべきかを決定します。市長は、議会の決定に基づいて事業を進めることとなります。このように、互いに均衡を保ちつつ、共に市政の発展のために活動するわけですが、お互いの思いが強すぎる時もあります。市政発展のために今後も取組んでいきます。
意見・要望	議会報告会、出席人数が少ないが、他の会場はどうか。
議会からの回答	今回は第4回目の報告会となりました。他の会場の出席者は上記表のとおりです。
意見・要望	議会報告会が年一回の開催では意義が薄いのではないかと、複数回やってもらいたい。
議会からの回答	今年度は2回行うこととして、10月中旬を予定しております。16ページをご覧ください。みなさまの積極的な参加をお願いします。
意見・要望	テーマを決めて話すことはいいことだ、自治会や女性の会の集まりで長くて1時間くらいの時間で議員に聞いてみたいことはないだろうか？公民館で地域の方に集まってもらうのも議会のことを知ってもらういい機会だと思う。
議会からの回答	テーマについては決まりましたが、会の進め方などは現在検討中です。
意見・要望	一般質問の内容について所管課の対応で解決する事案と思えることが多く感じられ、時間が無駄のように感じる。又、執行部のあげ足取りとも思えるようなやりとりも非常にばかばかしく感じる。もっと本気で「元気な浜田づくり」に向け、一体となって建設的な意見を出し合って議論してもらいたい。
議会からの回答	一般質問とは、議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のための適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。従って、個別の対応で解決するような質問内容は、この場では適切ではありません。議会内部でも、大所高所からの政策を建設的立場の論議となるように、申し合わせております。

地域井戸端会 ～市民と議員の意見交換～ を開催します。

初開催!!

第5回議会報告会

5月に議会報告会を開催しましたが、今年2回目として**地域井戸端会～市民と議員の意見交換～**を開催します。

是非この機会に参加して議員と話しませんか？

議員一同、心よりお待ちしております。



5月に開催された議会報告会の様子

日 時	開催会場(6)	担 当 班	テ ー マ
10月13日(火) 19:00～20:30	今福公民館	◎平石 牛尾博美、道下、岡野、野藤	地域農業と観光を充実するには？
	旭センター	◎布施 西村、岡本、笹田、上野	地域の個性を活かしたまちづくりを充実するには？
10月14日(水) 19:00～20:30	弥栄会館	◎佐々木 牛尾昭、田畑、柳楽、小川、飛野	地域農業とまちづくりを充実するには？
	三隅公民館	◎芦谷 江角、西田、足立、串崎、森谷	若者が住みやすいまちにするには？
10月15日(木) 19:00～20:30	周布公民館	◎平石 牛尾博美、道下、岡野、野藤	子育て支援と元気な浜田をつくるためには？
	石見公民館	◎布施 西村、岡本、笹田、上野	みんなが住みやすいまちにするには？

◎は班長

牛尾 澁谷 岡本 布施 野藤 森谷 柳楽 足立 笹田 田畑	【編集委員】
昭 雄 正友 賢司 薫 公昭 真智子 豪 卓 敬二	委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員
委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員	委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員
	副委員長

（記 岡本 正友）

浜田市ふるさと寄付の金額が7億3千万円を超えました。全国第5位であり、喜ばしい限りです。

約70%の方が浜田に縁のない方で、目玉商品（特産品）などのご縁から浜田を知り、ぜひ来ていただきたいと思っています。消滅する都市にならないためにも、老若男女市民一丸となって、豊かな自然と心温まる人間味あふれるふるさとをつくる。そして住みたいと思えるまちをつくることこそ大事です。その一歩として、おもてなしの心を育むことこそ必要な取組かもしれません。

あとがき

★この議会だよりは1部あたり42・40円でできています。